

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道12号 峰延道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局										
起終点	自：北海道岩見沢市岡山町 至：北海道美唄市進徳町	延長	6.3 km												
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道12号は、北海道の中核都市である札幌市と道北圏の中核都市旭川市を結節する延長約145kmの主要幹線道路であり、沿線人口は、256万人で北海道の46%を占め、地域の産業、物流、観光、生活を支える社会基盤として重要な路線である。</p> <p>このうち峰延道路は、岩見沢市岡山町から美唄市進徳町に至る延長6.3kmの事業である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>峰延道路は、札幌市から滝川市間約90kmで唯一残っている2車線区間のボトルネックのため、恒常的に発生している交通渋滞対策および交通混雑を起因として多発する追突や正面衝突事故対策を目的とし、旅行速度の向上、定時性、確実性の確保による米をはじめとする農産品等の物流効率化、高次医療施設へのアクセス性向上、地域の安心した暮らしの確保などに大きく寄与するものである。</p> <p>全体事業費 約99億円      計画交通量 33,400台/日</p>															
<p><b>事業概要図</b></p> <p>位置図</p> <table border="1"> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> <tr> <td>完成済</td> <td>■■■■■■■■■■</td> </tr> <tr> <td>事業中</td> <td>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</td> </tr> <tr> <td>平成19年度新規事業化</td> <td>▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨</td> </tr> <tr> <td>調査中</td> <td>□ □ □ □ □ □ □ □</td> </tr> </table>						凡	例	完成済	■■■■■■■■■■	事業中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	平成19年度新規事業化	▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨	調査中	□ □ □ □ □ □ □ □
凡	例														
完成済	■■■■■■■■■■														
事業中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■														
平成19年度新規事業化	▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨ ▨														
調査中	□ □ □ □ □ □ □ □														

**関係する地方公共団体等の意見**

峰延道路は、札幌市と旭川市、道央地域間を結び、経済活動や商業活動に大変重要な路線であり、4車線化未了区間の整備により、地域経済の活性化・沿線住民の生活に大きく寄与する事が期待されることから、北海道空知地方総合開発期成会（会長：岩見沢市長）や美唄市国道整備事業促進期成会（会長：美唄市長）より早期整備の要望を受けている。

**事業採択の前提条件**

費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.5	総費用：61億円 （事業費：61億円 維持管理費：0億円）	総便益：151億円 （走行時間短縮便益：145億円 走行費用短縮便益：4億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年：平成18年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.6 (交通量+10%)	B/C=2.4 (交通量-10%)	
		事業費変動	B/C=2.3 (事業費+10%)	B/C=2.7 (事業費-10%)	
		事業期間変動	B/C=2.4 (事業期間+20%)	B/C=2.6 (事業期間-20%)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策		全国の上位2割に含まれる渋滞損失時間である当該区間の渋滞を解消する 【1kmあたり渋滞損失時間】 約19.2万人時間/年km(H17)の減少 全国平均約2.0万人時間/年km(都道府県道以上、H13) 【渋滞度曲線】 全国直轄国道センサス区間の上位2割内に位置 その他の特徴：年間の1/3を占める冬期の積雪により約2割増加する冬期渋滞の改善	
		事故対策		ボトルネック解消、中央帯設置により、追突や追越し事故の減少が見込まれる 【死傷事故率】 199件/億台キロ(H13~H16 区間内最大)の減少 北海道平均：40.6件/億台キロ(H16) その他の特徴：事故の約8割を占める交通渋滞が起因する追突、正面衝突事故の減少	
	歩行空間		歩行者・自転車の安全性・快適性の向上、バリアフリー化を促進する 通学路に指定されており、歩行者や自転車の安全性の向上		
	社会全体への影響	住民生活		【高次医療施設へのアクセス向上】 第3次医療施設(札幌市)や第2次医療施設(岩見沢市)へのアクセス向上 (美唄市~岩見沢市 33分 26分、緊急搬送件数309件/5年)	
		地域経済		【農林水産品の流通の利便性が向上】 道内有数の稲作地帯における収穫される米の輸送の定時性確保 (国道12号沿線の米の生産額412億円、北海道内生産額の35%) 【地域プロジェクト支援】 三笠市の振興開発構想における大型商業施設の開業、アミューズメント施設計画等の地域プロジェクトを支援	
		災害		【緊急輸送道路の機能向上】 ボトルネック解消による緊急輸送道路(北海道緊急輸送道路ネットワーク計画)の確実性向上 冬期間、並行する道央自動車道の通行止め時の代替路(通行止め回数108回/6年)	
		環境		【騒音減少による沿道環境の改善】 歩道整備と一体となった道路空間の確保による交通騒音、沿道環境の改善 (環境基準超過値：昼間3db、夜間4db) 【CO2排出量の削減】 CO2：990t-CO2/年の削減	
地域社会		【地域産業の促進】 大規模商業施設(H17開設)へ市内外から訪れる日常生活交通の増加対策 通勤、通学道路としての機能確保			
事業実施環境	-	注目すべき影響はない			

採択の理由

費用便益比が2.5と、便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の渋滞対策、交通事故対策による住民生活、地域経済などに特質される効果が期待でき、事業の必要性・効果が高いと判断できる。  
 以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。